

講義名	英語B (総合)			授業形態	
担当教員	調整中	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

今まで習得した語彙や文法知識を活用し、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを身近な話題や、世界的な視野から学ぶ。授業では、日常的な場面を疑似体験しながら、ペアワークなどを多数取り入れた実践演習を行い、英語を理解した上で能動的、且つ漸漸に自分の考えを伝えたりする等、基礎的な英語コミュニケーション能力を高める。

到達目標

- ・日常会話に必要な基本的な語彙と文法が習得できる。
- ・様々な状況での英会話のスピーキングに慣れることができる。
- ・実際の日常生活で、英会話をする際の自信を身に付けることができる。

提出課題

授業内でアナウンスします。

課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法

授業内で講評・解説などを行います。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、課題など平常点を60%、セメスタ・末の最終試験 (定期試験) を40%として総合的評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

英語の習得には、継続的な努力・学習が必要ですので、毎日の学習習慣を身に付けることが重要です。また、授業の出席も非常に大事ですので、遅刻・欠席が無いように努めてください。このコースでは、学生の積極的な授業参加が求められます。講師や学生と頻繁に対話訓練としてのアクティビティを行い、学んだ英語を身に付けます。授業は英語のみで行い、日本語の指示は禁止です。授業中の積極的な参加態度を成績として評価しますので、練習の際の発言する努力とできる限りの積極的な参加が重要です。授業中は、クラス全員が一様に学んでいます。お互いに理解するのを助け合いましょう。一人で学ぶよりは、みんなで一緒に学ぶ方が、学習効果が促進されます。

教科書

.Berlitz English for University Students book 1, 4th edition. Ver.3.		Berlitz Japan., Inc.	2688		
--	--	----------------------	------	--	--

参考図書

その他

- ・教科書の価格が変更となる可能性があります。
- ・プリント資料及び参考文献は必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

1. オリエンテーション/Unit 1: 自己紹介
2. Unit 2: 他者を紹介する
3. Unit 3: 食べ物について話す
4. Unit 4: レストランで注文する
5. Unit 5: 日常について話す
6. Unit 6: 学生生活や将来について話す
7. Unit 7: レジュー
8. Unit 8: 普段の服装について話す
9. Unit 9: 買い物をする
10. Unit 10: 大検について話す
11. Unit 11: 旅行の計画を立てる
12. Unit 12: 場所の説明をする
13. Unit 13: 道を尋ねる/道案内する
14. Unit 14: レビュー
15. Unit 15: 問題演習

授業形態 (アクティブ・ラーニング)

ア: PBL (課題解決型学習)	イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

宿題や課題・教師が課したすべての課題を行うこと (1時間)
 復習: 前回の授業の内容を読み、まとめて下さい。不明な語彙や文法は必ず調べ、発音練習をすること。 (1.5時間)
 予習: 次の授業までに、不明な語彙などを調べ、まとめておくこと。使い方は積極的に講師に質問して下さい。 (1.5時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは英語での基本的かつ実用的な英語によるコミュニケーションスキルを修得する。日常のさまざまな場面を想定し、スピーキングやリスニングを積み重ねて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図ることにより、国際理解を進め、卒業時に必要なグローバル社会で活躍できるコミュニケーション能力の育成につなげる。これらの能力は留学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考